

2022年3月期 第2四半期決算短信 補足説明資料

株式会社オプティム

1. 2022年3月期 第2四半期決算レビュー

2. 成長戦略

3. 2022年3月期 通期業績見通し

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関する情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

2022年3月期 第2四半期決算レビュー

.....

創業来22期連続となる過去最高売上高に向けて好調に推移

第4次産業革命の中心的な企業になるために
積極的な成長投資を実施いたします

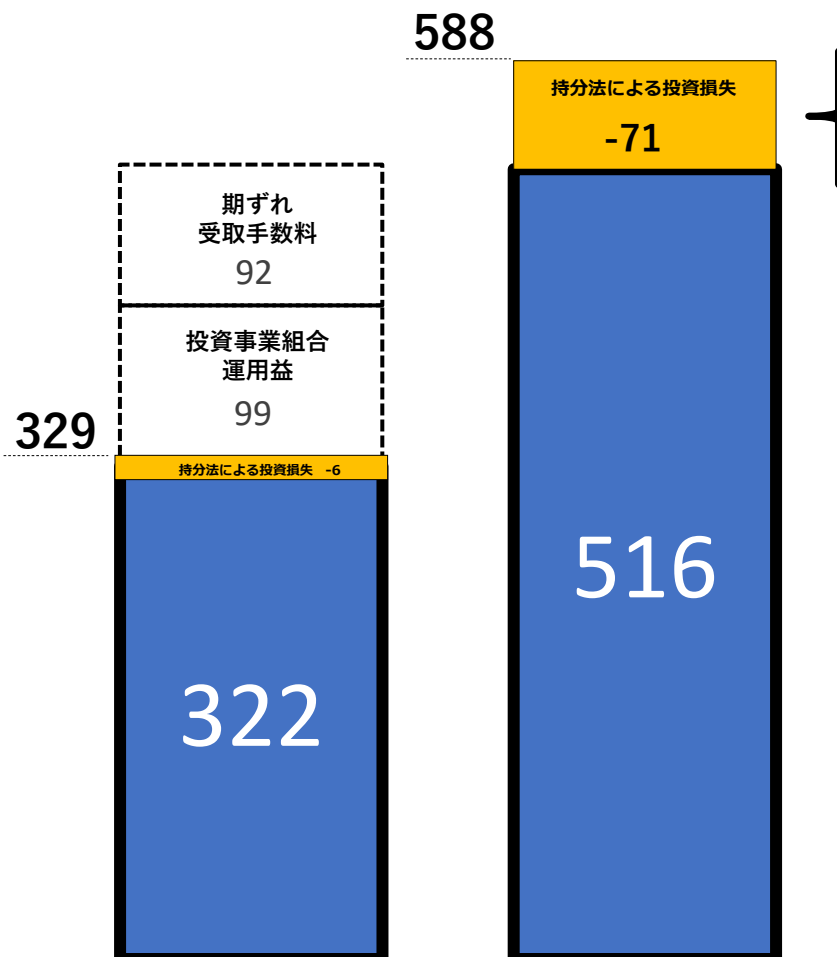
(連結経営成績 単位：百万円)

	2021年3月期 第2四半期 実績	2022年3月期 第2四半期 実績	実績 前年比	2022年3月期 通期予想
売上高	3,051	3,521	115%	8,269~9,020
営業利益	325	571	176%	1,121~2,000
経常利益	514 (※調整後 322)	516	100% (※調整後 160%)	1,121~2,000
純利益	321 (※調整後 201)	319	100% (※調整後 159%)	695~1,240

※調整後利益について

前連結会計期間において、特殊要因として、国からの補助金等の確定が当期にずれ込んだことによる受取手数料約9200万円及び投資事業組合運用益約9900万円の営業外収益の計上がありましたので、それら特殊要因の影響がなかった場合の数字との比較を記載しております。純利益算出の際の税率は、当初の税率をそのまま採用しております。

調整後利益に関する補足説明：経常利益



持分法損失要因(積極的な成長投資を継続)
株式会社NTT e-Drone Technology
DXGoGo株式会社
ディピューラメディカルソリューションズ株式会社
(社名五十音順)

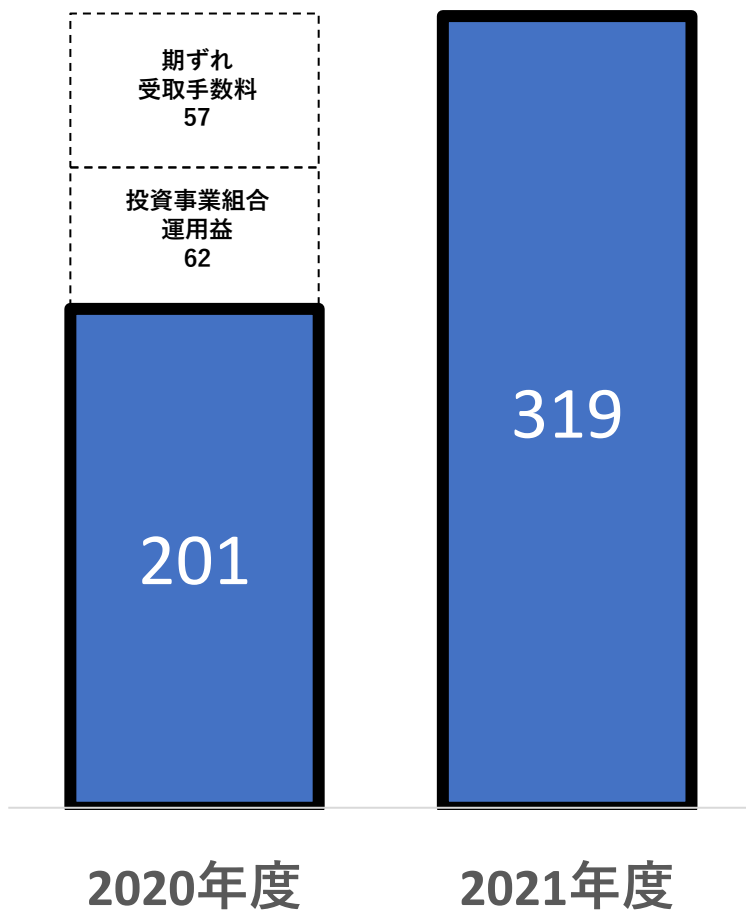
前年比 **160%**

持分法損失除外で**179%**

2020年度

2021年度

(連結経営成績 単位：百万円)



前年比 **159%**

(連結経営成績 単位：百万円)

■業績の進捗状況および通期見通し

【売上】

- ・ストック型の売上は、「Corporate DX」「Industrial DX」とともに、それぞれ中心となる「Optimal Biz」「OPTiM Cloud IoT OS」を中心に、順調に推移しております。
- ・フロー型の売上も特に数年前から取り組んでいる農業×IT分野における売上が好調に推移しております。各産業に特化したサービスの展開を見込んでおります。
- ・当社の売上構造は、ストック型のライセンス収入で月額課金による売上が中心となっていること及びフロー型のカスタマイズ売上の検収時期が下期に集中する傾向があること、これらにより、売上は、下期偏重となります。

【利益】

- ・Optimal Bizを始め、OPTiM Cloud IoT OSやAI関連サービスのストック売上が順調に推移しております。
- ・前期から開始しているソフトウェア資産計上も、利益の増加に寄与しております。
- ・営業利益と経常利益の乖離が大きくなっておりますが、これは前期から今期にかけて設立した合併会社3社とともに投資フェーズであり、費用先行となっていることに起因しております。
- ・純利益が、前年対比でマイナス計上となっておりますが、これは前年度において、国からの補助金等の確定がずれ込んだことによる受取手数料（約9200万円）及び投資事業組合運用益（約9900万円）といった特殊要因として営業外収益の計上があったことが影響しております。

したがって、第2四半期の進捗状況としては、売上・利益ともに計画どおりであり、業績予想への影響は一切ございません。

なお、現時点において新型コロナウイルスによる影響は顕在化しておりませんが、業績予測に与える影響が判明した場合には、すみやかに開示を行います。

成長戦略

〇〇×IT構想の更なる推進にむけて

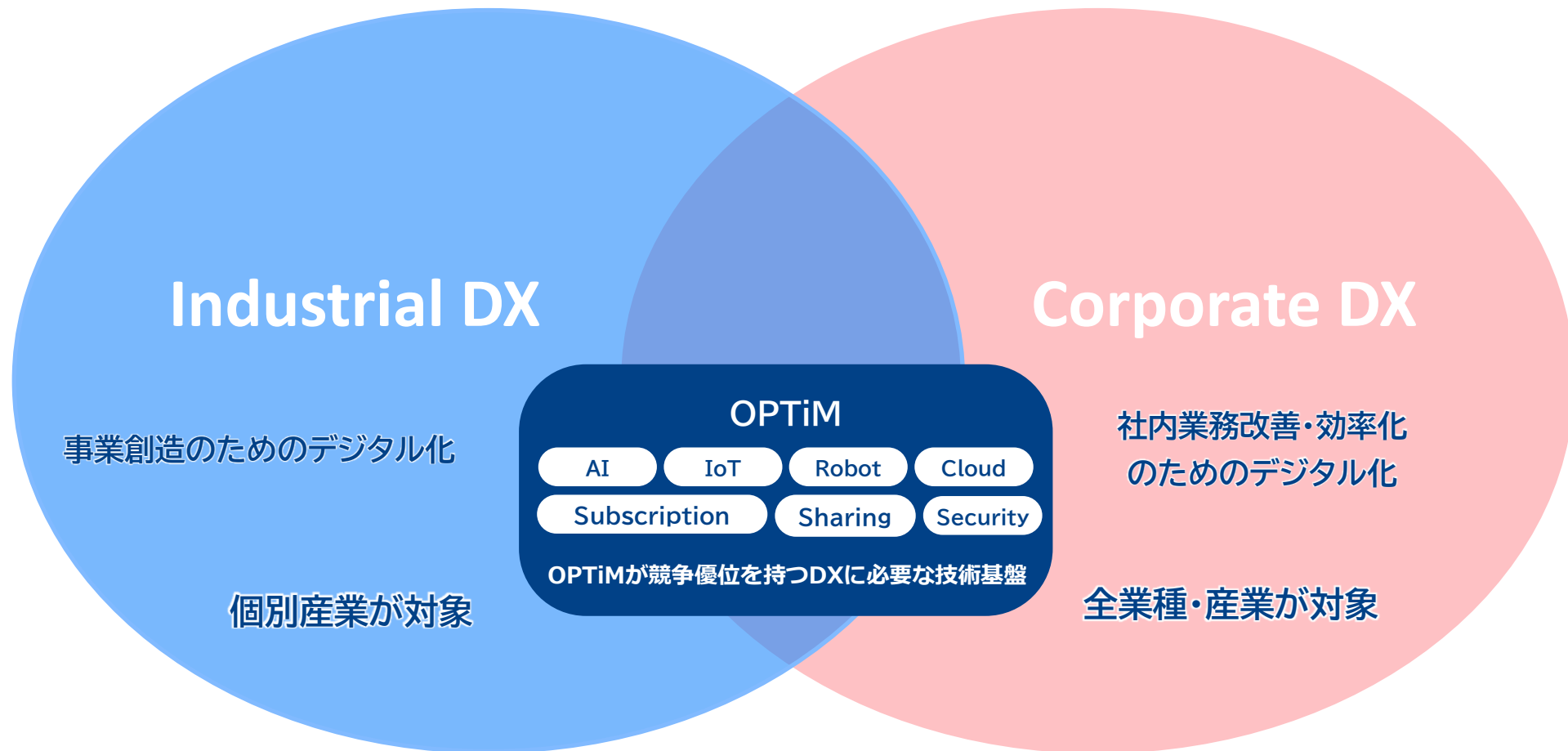
中期経営テーマ

OPTiM®

〇〇 × IT

各産業とIT（AI・IoTなど）を組み合わせる
「〇〇×IT」により
全ての産業を第4次産業革命型産業へと
再発明してまいります

2021年3月期第2四半期決算説明会資料より



コロナ禍により、特性の異なる2つのDXが大きく発展
TAM約160兆円

〇〇×IT戦略の推進により、OPTiMのAI/IoTプラットフォームへの 接続デバイス、産業向けキラーサービスが飛躍的に増加

Industrial DX

産業共通

PC・スマホ・タブレット カメラ



建設

建機・ダンプトラック



KOMATSU
Landlog

医療

手術ロボット



hinoto
Medicaroid
MINS

農業・IoT

ドローン・センサ等



NTT e-Drone Technology

ロボット

各種検査ロボ



Kawasaki

更なる

〇〇×ITを推進

450億台になるさまざまな
業界・ハードウェアへ展開



OPTiM Cloud IoT OS

ID管理・デバイス管理・遠隔制御・クラウド管理・セキュリティ・エコシステム運用・課金管理

AIサービス

OPTiM
IoT

AI Camera

OPTiM
GeoScan

MINS

農業DX
サービス

ロボットDX
サービス

...
次々に
新サービス投入予定

産業向けサービス

Industrial DX領域の進捗・新サービス

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月



農業

NTTe-DroneTechnology
OPTiM AGRI MICHINOKU

国産ドローンサービス利用推進：
NTT e-Drone Technology設立

固定翼型ドローン
栽培指導実証
ハウス栽培実証

スマート米2022
販売開始



医療

Medicaroid
D'PULA Medical Solutions Corporation

「オンライン診療プラットフォーム」
バージョンアップ

「ポケットドクター」
神戸大学と共同研究



建設・土木

KOMATSU
松尾建設株式会社
Landlog Marketing

「OPTiM Land Scan」
としてβ版無償提供

サービス提供開始

OPTiM Geo Scan
高精度3次元測量

国土交通省 九州地方整備局
「令和3年度防災訓練」へ提供

スキャン・エクス
連携

5/26メディア・パートナー向け
新サービス発表会にて発表

OPTiM IoT

クラウド機器管理サービス

サービス提供開始

産業共通



PC・スマホ・タブレット



カメラ

OPTiM AI Camera

混雑状況を可視化して三密を回避

広域モード・
API連携追加

AIソリューション
5部門で市場
シェアNo.1獲得

上野動物園
混雑マップ提供

ArgosView
連携

JR東海実証
one x one
新宿ミロードへ提供
API無償トライアル
機能追加：車両検知、
自動Webページ作成



Optimal Second Sight

遠隔作業支援サービス

RealWear
スマートグラス対応

今後も、更なるOO×ITの推進によるデバイスカバレッジ、産業用キラーサービス開発を推進
全世界450億台のデバイスへの接続と産業用キラーサービス提供を目指す

これまでの取り組み

消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立
単一作物で国内最大市場を持つ“米”で
栽培から加工、販売（EC）までを一気通貫で提供



弊社が生産者提携し栽培、販売を実現する“スマート米”において消費者、生産者ファーストのビジネスモデルを確立

農業とITの未来メディア「SMART AGRI」を運営
弊社が主体で発足させたスマート農業アライアンスに生産者を中心に2,000の団体が参加。協業し農業全体のDX化を進める

農林水産省、各自治体、生産者と先進的共同研究を数多く実施

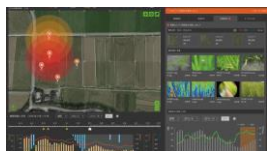
農業・食品産業全体の効率化と付加価値向上を目指した
独創的なDX（AI・IoT）サービスを開発



ドローンを使ったピンポイント農薬散布・施肥テクノロジー（世界初・特許取得）を提供



ドローンを使った播種テクノロジーを提供



圃場をAI・IoTで画像・センサ解析するサービス“Agri Field Manager”を提供



グライダー型ドローンを使った広域圃場管理システムを提供

今後の展開

米産業全体のDX化

”スマート米“栽培・販売を通じてノウハウを確立した“米”において栽培から加工、流通、販売、全体を見据えたDXサービスを提供する



TAM
約
2.3
兆円 ※

※出典：矢野経済研究所「2020年版 コメビジネス・米飯市場の実態と将来展望」米飯市場の市場規模推移より

農業DXサービスの販売拡大

実用化段階に入った栽培の効率化、付加価値化を行うためのDXサービスを数多くをさまざまなチャネルから提供していく



TAM
約
3,885
億円 ※

※『2030年のフード&アグリテック』（NAPA編）の市場規模予測値から「次世代ファーム」「農業ロボット」「生産プラットフォーム」の部分を用いて算出

これまでの取り組み

手術支援ロボットシステム「hinotori™」サージカルロボットシステム」用ネットワークサポートシステム「MINS※」を共同開発

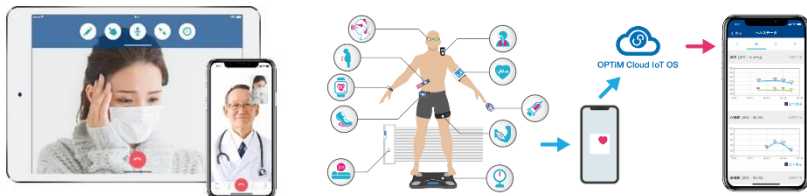


MINS※により実現されること：「hinotori™の稼働状態やエラー情報のリアルタイム収集」「手術室映像のライブ配信及び閲覧」「デジタルツインによる稼働状態の三次元再現」など

※Medicaroid Intelligent Network System

オンライン診療プラットフォーム

- ・2016年2月「オンライン診療ポケットドクター」を発表
- ・2020年2月～9月「ポケットドクター」を医療機関に無償提供し、新型コロナウイルス感染症対策に貢献
- ・2020年4月 オンライン診療プラットフォームのOEM提供を発表



今後の展開

手術室向けDXサービスとして販売拡大

- ・hinotori™出荷拡大※に伴い、MINSを順次導入
 ※日本での事業基盤確立(24.3月期:100億円)
 (シスメックス株式会社 2021年3月期 決算説明会より)
- ・手術室向けDXサービスの共同開発と展開
 - ・hinotori™本体の競争力拡大
 - ・手術室関連の新規ビジネス創出

コロナ渦でニーズが高まる分野へ応用

オンライン診療プラットフォームを関連サービスに広く展開

TAM
 約 **1,500**
 億円

オンライン診療サービス、オンライン服薬指導、保健指導等企業健保向けオンラインサービスなどの合算値

※1 2024年推定地。調査会社シード・プランニング「オンライン診療サービスの現状と将来の市場に関する調査の結果(2020年7月)」より

※2 全国の総処方箋枚数、約8億枚(厚生労働省「平成30年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」より)に服薬指導単価430円を掛け合わせ、さらにそのうち1割がオンライン化すると想定した場合

※3 50人以上の従業員がいる事業所数、約16.4万施設(平成22年労働安全衛生基本調査、平成26年経済センサス(一部推計含む。))に対して、5万円/月/施設で試算

これまでの取り組み

LANDLOG推進 with コマツ

SC Edge(現場)



SC Fleetデバイス
(ダンプカーなど)



SCLetrofitキット
(油圧ショベル)



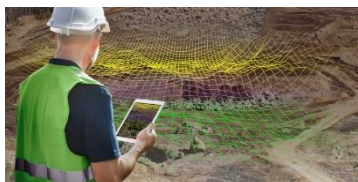
- ・コマツ社が主導するLANDLOGを通じてOPTiM Cloud IoT OSを提供
- ・ショベルカー、ダンプカー、ドローン、各種エッジデバイスなどのデバイスを管理・解析
- ・55社がアプリケーションを提供

LANDLOG Marketing設立

- ・ランドログの普及支援、および、OPTiMの建築・土木ソリューション展開のため、ランドログマーケティング(LLM)を設立
- ・パートナー網として、販売店：10社、サポート店：2社を確立
- ・コマツ社のレトロフィットサービスを展開



建設・土木向けDXサービス開発



九州最大級ゼネコン松尾建設社とiPhoneを使った3D測量サービス“OPTiM Geo Scan”共同開発・提供開始

今後の展開

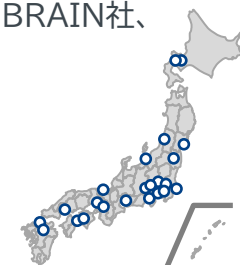
LANDLOG推進 with EARTHRAIN

- ・新たにEARTHRAIN社が事業開始予定(2021年7月)
- ・コマツ社等より4/30にプレスリリース
- ・EARTHRAIN社ともに、引き続きOPTiM Cloud IoT OS提供を通じたLANDLOGの事業・開発推進

LANDLOG Marketing発展

- ・ランドログマーケティングを通じた、EARTHRAIN社、LANDLOGサービスとの事業協業、普及支援
- ・全国の販売チャネル確立
- ・エリアカバレッジ100%※を目指す

※ 販売、および2時間以内の現地サポート体制



建設・土木向けキラーDXサービスの販売拡大

- ・OPTiM Geo Scanを中心とした建築・土木DXサービスの開発と展開
- ・LLMのチャネルを中心に、ターゲットとなる建設関連会社36万社※に提供

※ 土木工事で元請けができる会社建設会社130万社から企業規模などを鑑みて算出

TAM
3,600
億円

各産業における国産ドローンサービスの利用を推進すべく、 NTT e-Drone Technologyを設立

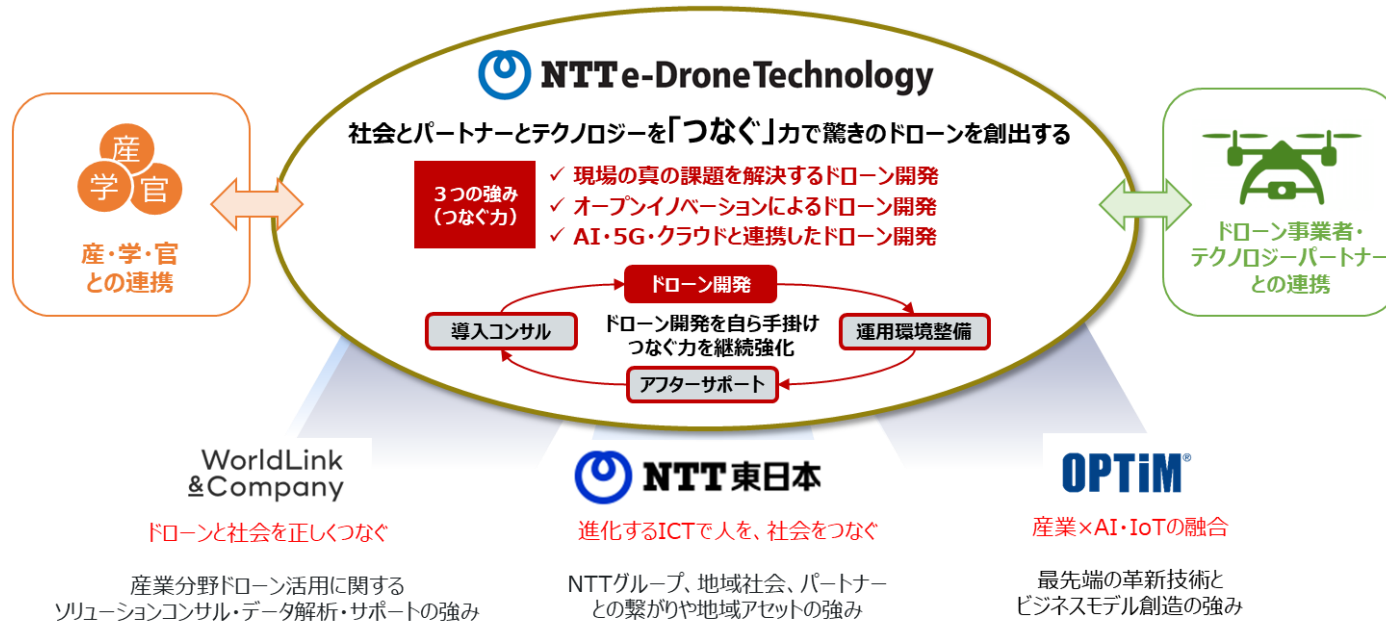
農業向け機体

産業向け機体



- ・農業分野を起点に、点検、測量、公共などへの他分野に展開を行う
- ・国産、軽量、省電力を強みとした、機体開発に加え、オプティムがもつAI、IoTのソフトウェアサービスを融合させた事業展開を図る

国内ドローン市場
TAM
6,400
億円 ※



※出典：インプレス総合研究所「ドローンビジネス調査報告書2020」
国内のドローンビジネス市場規模の予測より

OPTiMのAIソリューションが5部門で市場シェアNo.1獲得 ※1

OPTiM AI Industry



OPTiM AI Camera



OPTiM AI Camera Enterprise



Agri Field Manager

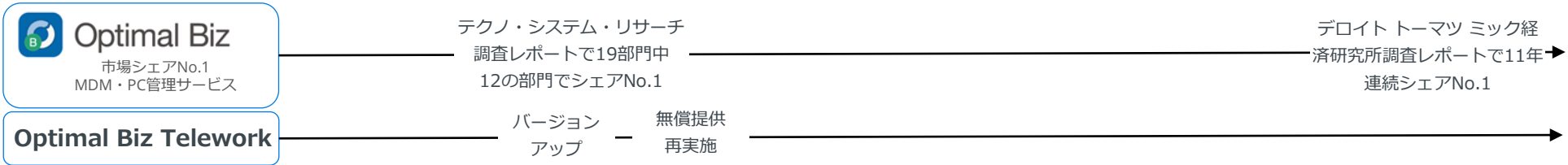


OPTiM Cloud IoT OS

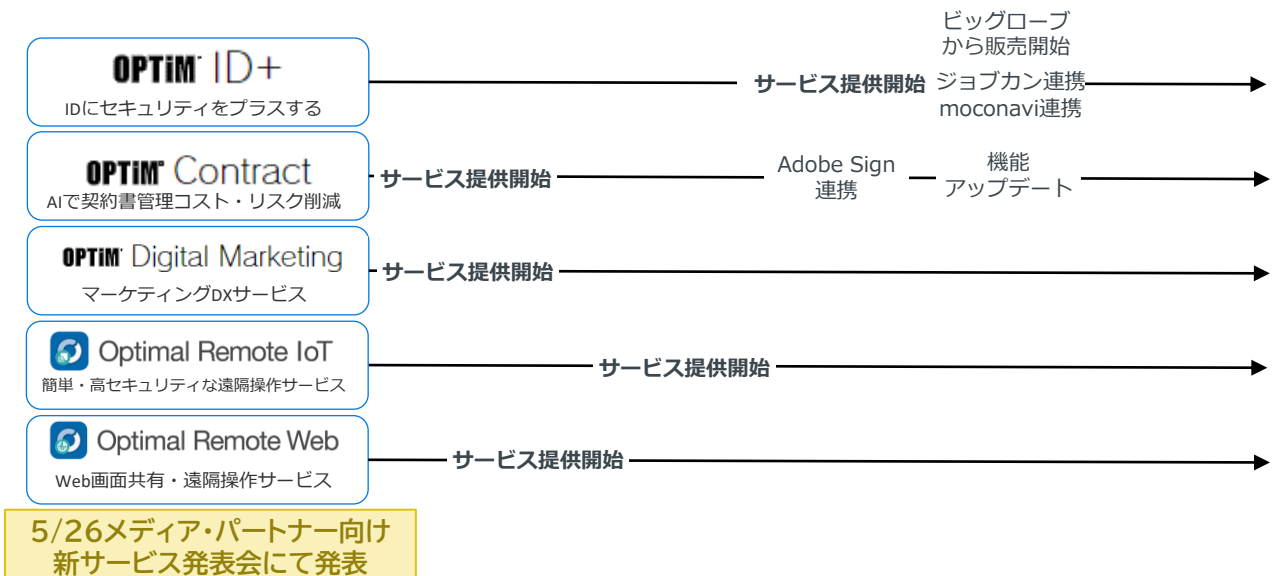
※1 デロイト トーマツ ミック経済研究所「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2020年度版】」

**コロナ禍により、
Corporate DX (オフィス業務のデジタル化) による
リモートワーク、業務効率化、コスト削減
ニーズが急拡大**

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月



Corporate DXの新サービス群



今後も次々に、新サービス投入予定…



国内MDM市場

11年連続 **No.1** を獲得^{※3}

業界別 **全20部門**でもシェア**No.1**^{※4}



※3: デロイト・トーマツ ミック経済研究所
 「クラウドサービス市場の現状と展望 2013年度版」IT資産管理 (MDM含む) 市場 [合計売上高] 2011年度～2012年度実績。
 「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理/パッケージソフトの市場展望」MDM出荷ID数 (SaaS・ASP含む) 2013年度～2017年度実績。
 「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望」MDM出荷ID数 (SaaS・ASP含む) 2018年度～2020年度実績および2021年度予測より。

※4: デロイト・トーマツ ミック経済研究所 2021年度版「コラボレーション・モバイル管理ソフトの市場展望 2021年度版」
 (https://mic-r.co.jp/mr/02220/) の2020年度実績および2021年度予測のうち、「Optimal Biz」が1位の評価を得た部門の数をオプティムが集計。

公共・学校・公益事業・金融業・サービス業・通信・製造業向けなどの市場においてもシェアNo.1

5G・AI時代を見据えMDM（法人向けモバイルセキュリティサービス）分野の戦略的拡販、Corporate DXの強化、Industrial DXの拡大を目的とした新会社を設立



「OPTiM INNOVATION 2021」を開催

「あなたの仕事を変えるDX」をテーマとして、産業別にオンライン開催



OPTiM INNOVATION 2021 Construction	2021年11月26日（金）
i-Construction、ICT活用、3次元施工、BIM/CIMといった建設現場DX化の最新事情、建設現場に革命を起こす測量アプリ「OPTiM Geo Scan」のアップデート情報や、導入・活用事例、今後の展望をご紹介	
OPTiM INNOVATION 2021 Agri	2021年11月30日（火）
オプティムが推進するスマート農業に関する新サービスやオプティムの特許技術「ピンポイント農業散布テクノロジー」など最先端技術を用いたプロジェクト事例やパートナー様との取り組みをご紹介	
OPTiM INNOVATION 2021 Medical	開催日後日発表
オプティムが取り組む医療領域のサービスのご紹介。詳細は後日発表	
OPTiM INNOVATION 2021 Final	開催日後日発表
デジタルを活用した事業創造のための「Industrial DX」、および社内業務効率化を行うための「Corporate DX」を推進する製品とその事例をご紹介	

「OPTiM INNOVATION 2021」は、すぐにビジネス活用できるAI・IoTソリューションや、AI・IoTの最新活用事例などを紹介するイベントです。昨年引き続きオンラインでの開催となる「OPTiM INNOVATION 2021」は、オプティムが取り組む複数の産業ごとに、開催日を分割して実施いたします。

2021.11.04プレスリリース

「契約書AI解析・管理システム」の特許、 「令和3年度九州地方発明表彰」 文部科学大臣賞受賞

本発明により、契約内容を管理システムなどに入力する手間が省け、管理工数を少なくすることができます。また、契約者は契約に伴うリスク（契約相手や契約期間、契約の種類など）を容易に把握することが可能となります。

オプティム代表取締役社長の菅谷 俊二、 1993年～2020年「情報通信分野」 特許資産個人ランキング1位※を獲得

2020年12月時点

順位	発明者	発明者スコア (按分)	有効特許 件数	総出願 件数	平均共同 発明者数	企業名(推定)
1	菅谷俊二	809.1	329	329	0.049	OPTiM
2	NS	354.0	741	741	2.965	大手通信キャリア
3	TK	274.1	190	190	1.574	大手IT企業
4	KY	217.4	242	242	2.450	大手通信キャリア
5	BN	213.5	97	97	0.938	大手IT企業
6	KS	212.9	68	68	0.088	大手IT企業
7	TK	199.4	478	478	2.977	大手通信キャリア
8	SM	191.6	171	171	2.520	大手通信キャリア
9	HK	191.2	168	168	2.738	大手通信キャリア
10	ME	190.7	27	27	1.333	大手IT企業

◆特許イメージ

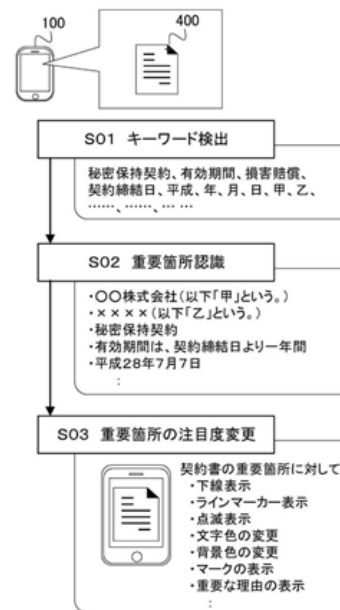


図1:本発明による契約書解析の処理内容

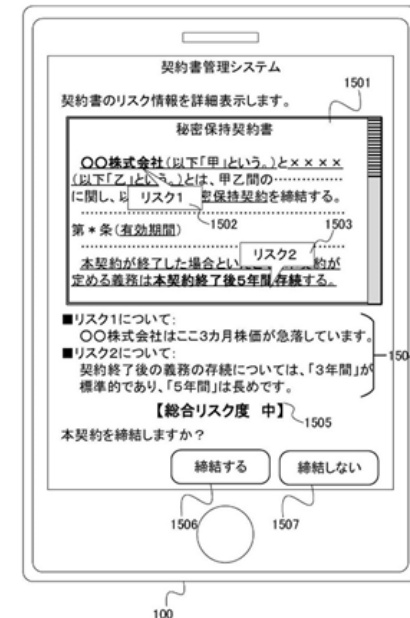


図2 本発明の実施例:契約に関するリスク表示

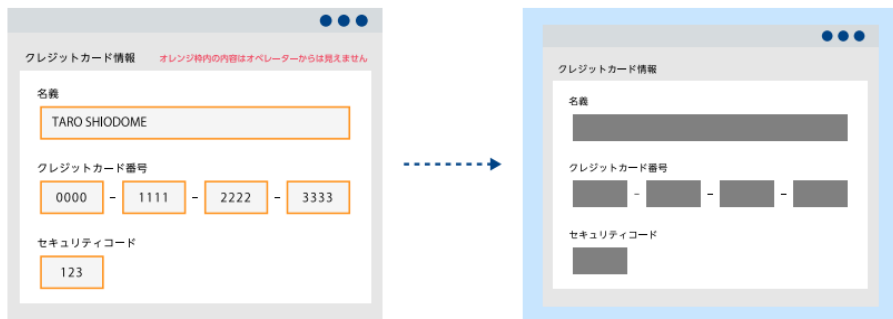
オプティムでは、イノベーションの創造と実現こそが唯一の自社の存在意義とし、創業当初からイノベーションの実現を目指して参りました。また、イノベーションの市場競争優位性を確立するために知財戦略を用いて新市場や新顧客を創造してきました。今後も知財活動を通じてさまざまな産業の発展に寄与するとともに、日本が知財立国として飛躍することに対して貢献していきたいと考えております。

※ 出典元：株式会社パテント・リザルト集計の発明者ランキングデータ 1993年～2020年12月3日までに日本国特許庁で公開された公報のうち、【情報通信分野】に関連する特許が対象

2021.10.25プレスリリース

「Optimal Remote Web」への活用特許、 機密情報マスキング技術

特許番号：6259962（日本）、10819699（米国）



ユーザーのWeb画面

オペレーターに共有される
Web画面

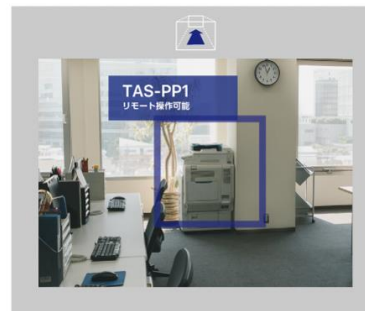
Web画面共有サービス「Optimal Remote Web」の機能として、特許を活用した「マスキング機能」が提供されています。本機能により、Web画面内にある口座情報やクレジットカード番号などの機密情報を、オペレーターが閲覧できないようマスキングが行えます。

遠隔操作可能なIoT機器を映像内で AR表示する特許「IoT機器レーダー」

特許番号：6764151（日本）、10887195（米国）

【撮影範囲内に機器がある場合】

【撮影範囲内に機器が無い場合】



クラウド機器管理サービス「OPTiM IoT」上で管理されているIoT機器において、トラブルが発生している機器をオペレーターが遠隔地から機器の外観や周囲の環境などを確認する際に、現地の従業員がスマートフォンやタブレット、スマートグラスで、遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」を用いて撮影を行います。

その際に、対象の機器の場所がどこにあるかをARにて表示することで、発見が容易になります。また、表示されているIoT機器のAR表示を選択し、IoT機器遠隔操作サービス「Optimal Remote IoT」を用いてIoT機器の遠隔操作を行うことができます。

2021.08.30, 09.29 発表

第4次産業革命の中心的企业になる

経営理念

世界の人々に大きく良い影響を与える普遍的なテクノロジー・サービス・ビジネスモデルを創り出すことを目的として事業に取り組む。

また、存続を目的とせず、たえず身の丈に合わない大きな志を持ち、楽しみながら挑戦する。

社内外を問わず、あらゆる属性を意識せず、互いが互いの立場を思いやり人間力の向上をおこなう。

オプティムでは、企業のその存在理由そのものが、多くの人々への貢献にあると考えており、その一環として環境や社会問題への取り組みを積極的に行っております。

利益創出は、その貢献を永続化させる、あるいは、イノベーションへの投資によって、その貢献を最大化、効率化させるために必要なものであると位置づけています。

また、ダイバーシティや地域社会との関係性も重視し、創業来上記の経営理念を推進しております。また、ガバナンスの強化を通して、透明性の確保による、企業不祥事、不正の防止、OPTiMのスタッフ個々人のやりがいある職場環境、豊かな人生の実現を図ってまいります。

国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals)についても、事業活動を通じて目標達成に貢献してまいります。

関連するSDGs	当社の活動
Environment (環境)	
<div data-bbox="203 411 391 596"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div data-bbox="203 619 391 805"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div data-bbox="203 828 391 1013"> <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div>	<p>テーマ：生物多様性の確保と環境負荷軽減 ピンポイント農薬・肥料散布により化学農薬、肥料を最大99%削減 オプティムが特許を保有する「ピンポイント農薬・肥料散布テクノロジー」は、ドローンと画像解析技術を用いた精密農業を行うことができる。必要な箇所のみ農薬、肥料を散布することで、土壌環境への負荷を軽減すると同時にコストも削減することができる。また、減農薬栽培や作物の収量安定を実現。本取り組みは、農林水産省が策定する「みどりの食料システム戦略」でも紹介されている。また、具体的取り組みとして「ドローンによるピンポイント農薬・肥料散布の普及」が明記されている。</p> <p>テーマ：気候変動対策の推進 デジタル技術を用いた気候変動（温暖化）に対応可能な栽培技術体系の確立 気象・水位・栽培歴・病害虫・生育データをデジタル化することで、環境・生育状況に応じた栽培手法をレコメンドするシステムを開発。また、AIを用いた病害予測技術の高度化を実施。気候変動に伴う、作物の高温障害や病害の北上等の課題への対策を可能とすることで、持続的な栽培を可能とする。</p> <p>テーマ：2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現の推進 ドローンを活用した資源量調査サービス「ForestScope」の提供 ForestScopeは、ドローンを活用して森林を空撮し、画像解析により樹木本数や材積量を推定することができる。森林資源量の調査を簡便に行うことができ、資源量の調査工数の削減を行うことができる。森林保全を行うには資源量調査が有効なデータとなり、保全のための間伐や資源循環利用、カーボンニュートラルに向けた、計画的な森林マネジメントに貢献することができる。</p>

関連するSDGs	当社の活動
Social（社会）	
<div data-bbox="91 329 281 519"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  </div> <div data-bbox="292 329 482 519"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div data-bbox="91 526 281 716"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div data-bbox="292 526 482 716"> <p>10 人や国の不平等をなくそう</p>  </div>	<p>テーマ：地域社会の労働力不足解消、新たな働き方提案 多様な働き方を支援するサービス群（Optimal Biz、Optimal Biz Telework、Optimal Remote、Optimal Second Sight）の提供</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言が発令され、多くの企業がテレワーク（在宅勤務）へと勤務形態を移行。また、物理的な場所や時間を意識しない仕事のやり方も求められている。このような社会状況に応えるべく、多様な働き方を実現する複数のサービスが提供されている。</p>
<div data-bbox="184 772 375 962"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div>	<p>テーマ：地域間医療格差の解消と高度な医療の提供 患者、医療機関の双方においてメリットがある「オンライン診療サービス」を実現</p> <p>地域ごとの医療格差、仕事や育児、身体的事情などでの来院機会損失の課題に対して、スマホやタブレットで遠隔診療を行うことで継続的に受診でき、予防医療にも繋がり生活習慣病有病者や介護者を減らすことが可能。また医師にとっては、往診における時間的・経済的負担も軽減。</p>
Governance（企業統治）	
<div data-bbox="91 1095 281 1283"> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  </div> <div data-bbox="292 1095 482 1283"> <p>16 平和と公正をすべての人に</p>  </div>	<p>テーマ：企業価値、株主価値向上を目指して 各分野有識者からなる「経営諮問委員会」の設置</p> <p>現在オプティムが取り組んでいる農業・建設・医療の各分野における第一人者の方々を委員（エグゼクティブアドバイザー）として招聘。経験に裏打ちされた知見を基にした各産業分野への関与のみならず、企業価値の最大化を図るためのコーポレートガバナンス強化観点に対しても貴重なアドバイスをいただき、経営の透明性・健全性確保を図っている。</p>

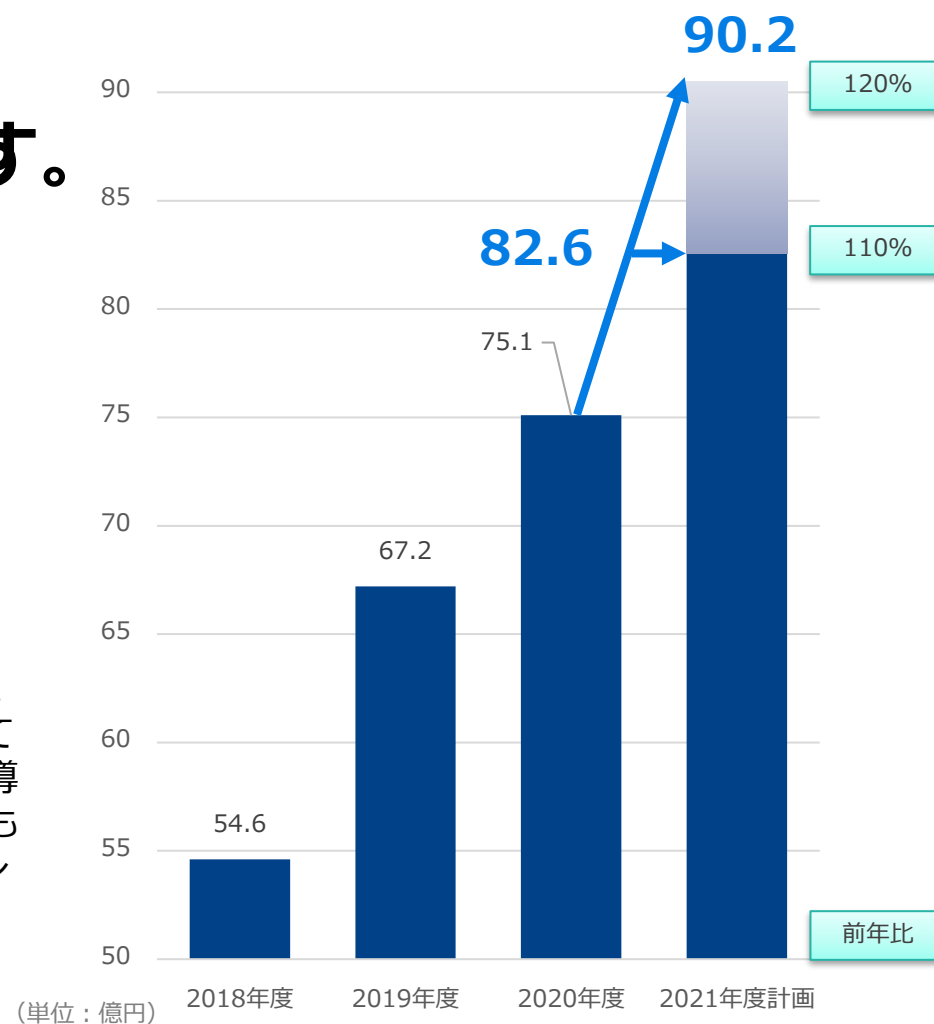
2022年3月期 通期業績見通し

創業来**22期連続**となる
過去**最高売上高**を目指します。

90.2億円～82.6億円
(前年比110%～120%)
の範囲で計画

売上については、既存サービスに加え、「Industrial DX」「Corporate DX」という新たなサービスの売上を見込むことで、前年比120%程度の成長率を確保できるものと考えておりますが、コロナウイルスの影響により、新規ビジネス導入の際のカスタマイズ案件の進捗が滞った場合は、売上にも影響が及ぶと考えており、前年比120%～110%成長のレンジ形式での予想開示を採用いたします。

売上予想



2018年度は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

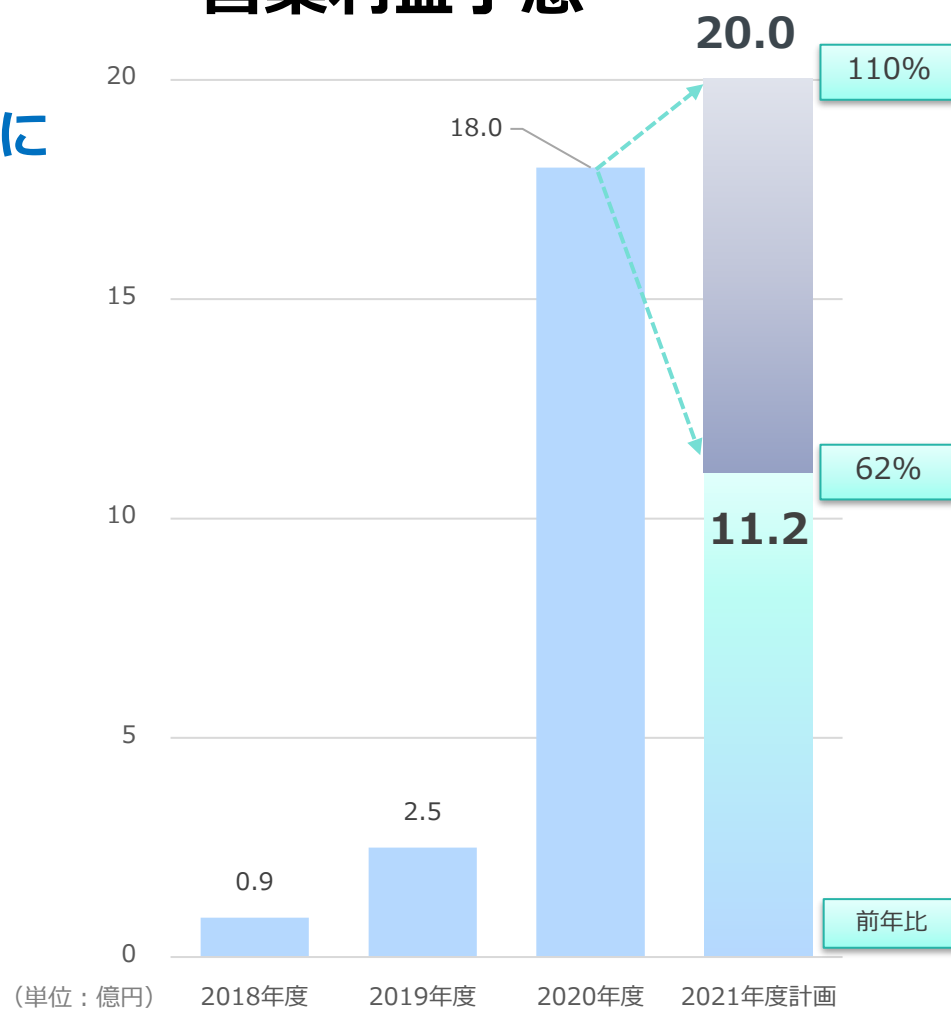
**第4次産業革命の中心的企业になるために
利益を確保しながらも
積極的な成長投資を継続いたします。**

**営業利益20.0億円～11.2億円
(営業利益率22%～13%)
(前年比110%～62%)
の範囲で計画**

営業利益については、積極的な成長投資を行う事を前提とし、「Industrial DX」「Corporate DX」の取り組みを進め、O×ITの更なる推進や新たな市場開拓を積極的に行ってまいりますので、営業利益率は、20%程度となる見込みです。

一方で、現時点で予測がしづらいコロナ禍における、売上計画に影響が発生した場合などにおいても、積極的な成長投資を行っていく計画としております。これらを考慮し売上と同様にレンジ形式での予想開示を採用いたします。

営業利益予想



2018年度は単体決算でしたが、参考値として連結実績との比較を行っております。

第4次産業革命の中心的な企業になるために、
積極的な成長投資を実施いたします。

売上については、
創業来**22期連続**となる過去**最高売上高**を目指します。

利益については、
積極的な成長投資を実施しつつ
13%～22%の営業利益率を目指します。



Appendix

AIやドローンを使い、 農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米「スマート米2022」、 2021年度産新米の販売を開始

スマート米 2022

(2021年度産新米)

とっても体にやさしい
お米できました。

特別栽培米

残留農薬不検出

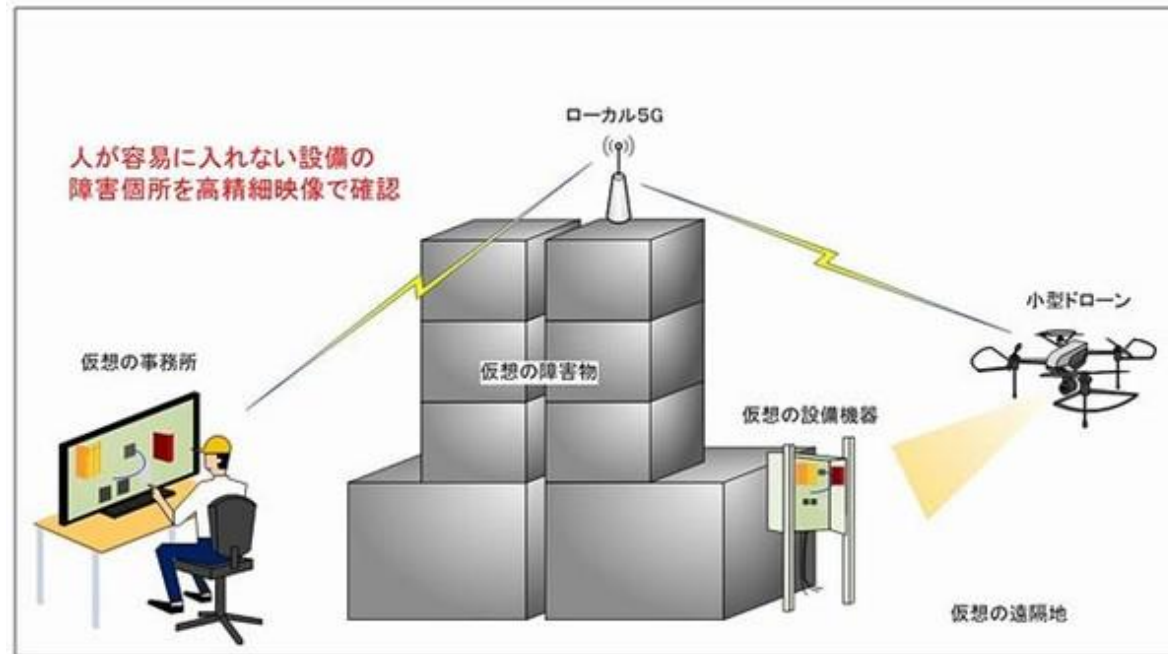
節減対象農薬50%以下

 SMART AGRI FOOD
育てる人、食べるとき、みんなが安心



新たに宮城県産「ひとめぼれ」、石川県産「ひやくまん穀」、新潟県産「ミルキークイーン」・「にじのきらめき」をラインアップに追加。ピンポイント散布テクノロジー/適期作業支援アプリにより、最適な栽培管理と農薬散布を実現

ローカル5Gを活用した小型ドローンによる屋内実証実験の開始



現在普及している高精細なドローンの撮影映像は、ドローン本体に記録・蓄積した動画を着陸後に取り出して事後再生することが一般的です。一方、本実証実験では、人が現地で実施している定期的な設備の巡視点検を、ローカル5Gおよび屋内自律飛行型ドローン等を活用することで代替し、高精細な映像をリアルタイムで確認することで、異常の早期発見や故障の未然防止を目指します。これにより、工場設備保安業務の効率化や安全性の向上が期待されます。

スマートフォン3次元測量アプリ「OPTiM Geo Scan」 サービスラインナップを拡充、オンライン3D点群処理ソフトを提供開始 スキャン・エックスとの連携により実現



「OPTiM Geo Scan」のアカウントでログインすれば、
データ移行なしに、点群処理ソフトでデータ作成、編集、活用が可能

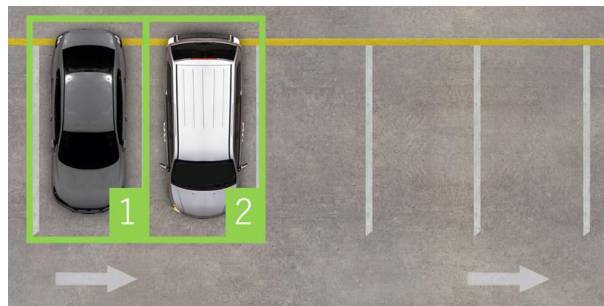
遠隔作業支援サービス「Optimal Second Sight」、 RealWearの産業用スマートグラスに対応 スマートグラスでフィールドメンテナンスの業務改善を目指す



「Optimal Second Sight」は、マルチデバイスならびにマルチOS対応の遠隔作業支援サービスです。現場で作業する方が見ている映像を、遠隔地にいる指示者へ共有することで、現場の状況をリアルタイムで確認することができます。

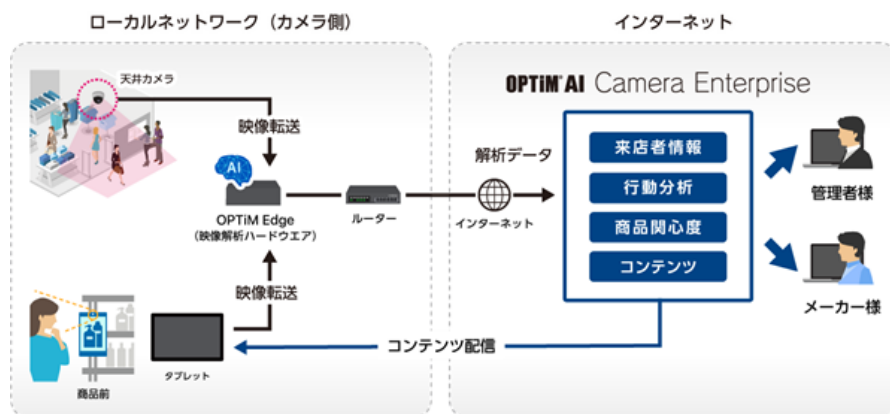
「車両検知関連」機能を追加

駐車場の混雑状況可視化や道路の交通量調査、
工場の車両侵入監視などが可能に



	機能名	補足・条件
1	エリア別車両台数把握	対象エリアに滞在する車両台数を可視化します
2	エリア別車両台数情報分析	対象エリアに滞在する車両台数を分析します
3	入場車両台数カウント	施設内に入った車両台数をカウントします
4	入場車両台数予測	蓄積された分析データ及び各種オープンデータを使用し、翌日、翌週、翌月の車両台数を予想します
...

最新活用事例を公開



JR名古屋駅で実施する「ショールーミング事業」実証実験

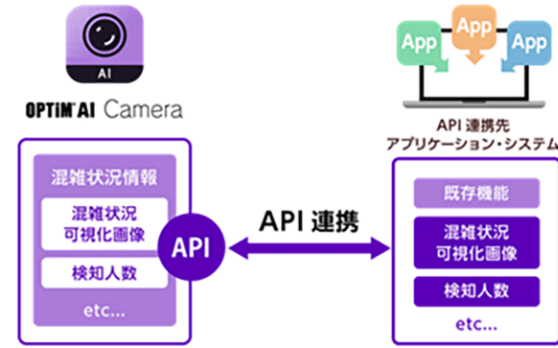


『onexone (ワンバイワン) 新宿ミロード店』

2021.10.04, 10.08, 10.22プレスリリース

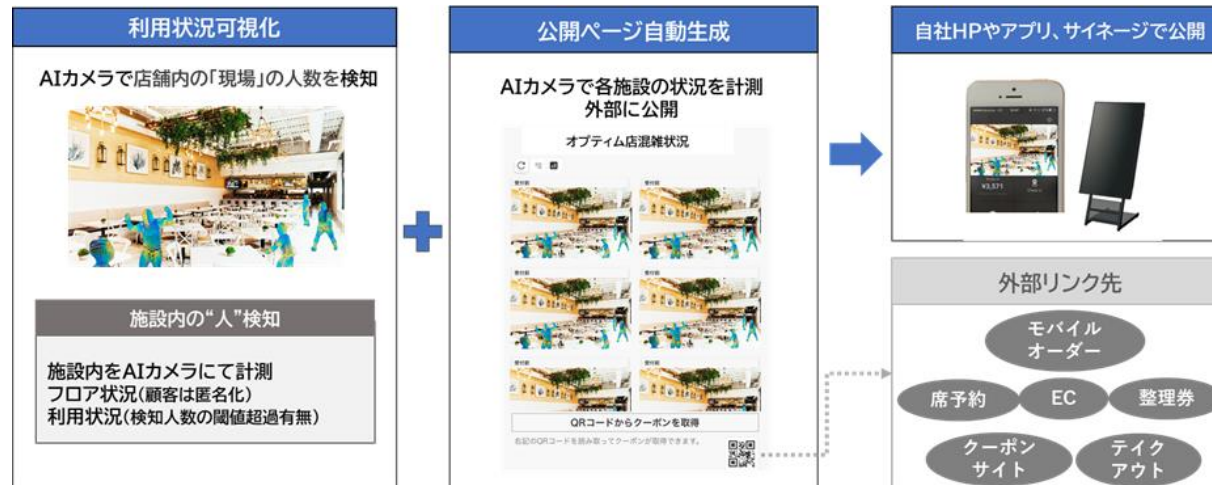
API利用ライセンスを無償トライアル提供

APIを介して連携する、
各種サービスの開発検討に利用可能



「Webページ自動生成」機能の追加により利便性向上

自社Webページが無くても、混雑状況の外部公開が可能に



クラウド認証基盤サービス「OPTiM ID+」販売開始 販売開始を記念し、3ヶ月無料キャンペーンを実施



シングルサインオン



ID管理



監査ログ



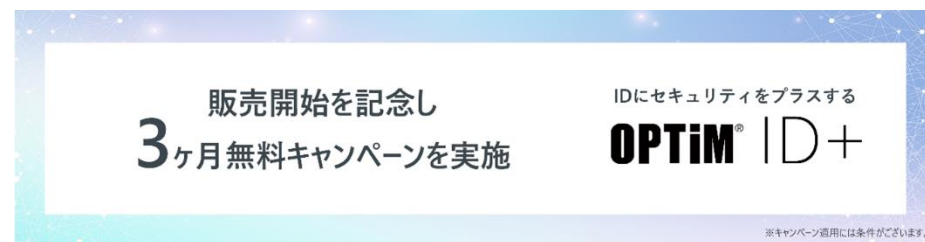
アクセス制限



多要素認証



ユーザー情報連携



販売開始(新規販売パートナー)



サービス連携開始



2021.09.02, 10.14, 10.21, 10.26プレスリリース

AIを活用した契約書管理サービス「OPTiM Contract」販売開始

「OPTiM Contract」の特長

- AIが契約書を解析し、自動で情報を抽出&入力。手入力による記入作業を効率化
- クラウドで一元管理したセキュアなデータベースを検索し、すぐに目的の契約書へアクセス可能
- 契約の更新期日が近づくと自動で通知、更新漏れを防止
- クラウドによる簡単導入と高度なセキュリティ対策

販売開始(新規販売パートナー)

OPTiM Contract  DONUTS

サービス連携開始

OPTiM Contract   Adobe Sign

従来の契約書スキャンデータ・電子契約の一元管理が可能に

契約書の関連資料を保管する機能を追加

契約書に関連する取引概略・担当者・稟議記録等の諸情報の集約管理が可能に



2021.09.03, 10.12, 11.05プレスリリース